



# 選択を ~教職という選択を 全ての学生に~



広島修道大学

教職課程委員会  
〒731-3195 広島県広島市安佐南区大塚東1-1-1  
問合せ先: 教学センター教務第2課 資格課程係  
TEL: 082-830-1127



(2025年3月現在)

広島修道大学 教職課程



**教員を目指すきっかけ**  
私が教員を目指すきっかけになったのは、高校3年生の時に赴任してきた先生でした。先生は、授業で生徒が意見を出し合える雰囲気を作ってくださり、いきいきと学ぶことができました。また、私は野球部のマネージャーをしていましたが、部活動においても常に気にかけてくださいました。先生のあたたかい人柄にふれ、自分も先生のような教員になりたいと思いました。

**悔しさを、教員を目指す力に変えて**  
高校3年生の時、全国高校野球選手権広島県大会で優勝しましたが、コロナウィルス感染症の影響で甲子園が中止となり、出場することができませんでした。「教員にならう一度甲子園を目指したい」悔しい経験が私に教員を目指す力を与えてくれました。

甲子園に行けなかった夢を、これから生徒たちに託して、私も恩師のように、商業の勉強の楽しさを生徒たちに伝えながら、野球の指導にも関わっていきたいです。

なかの　たいが  
**中野 太雅さん**

広島県・市公立学校教員採用試験(高校商業)合格  
商学部 商業科 2021年度入学  
広島県立広島商業高等学校出身



**特別支援学校の教員として、一人一人に合う指導と支援を追求する**  
特別支援学校で教員をしている母から、学校での様子や教師のやりがい等の話を聞き、特別支援教育に興味を持ったことが教員を目指すことになったきっかけです。

特別支援学校では、子どもたち一人一人の個性に合わせた指導や支援をしていくことが必要です。大学卒業後は子どもたちと向き合いながら、他の先生方や保護者と協力し、子どもたちの持っている力を伸ばしたいと思っています。

**教員採用試験対策を支援する学修環境の充実**  
私は教職課程学習室をよく利用していました。この学習室には個々に仕切られた机と教採対策の教材がたくさん用意されているので、集中して対策に向き合うことができます。

その他模擬授業等で使える教職課程学習室が用意されていて、友人たちと模擬授業や意見交換をしながら学ぶこともできます。大学の施設を活用しながら、自分に合った学習方法を見つけてみてください。

きはら　りこ  
**木原 梨子さん**

広島県・市公立学校教員採用試験(特別支援学校)合格  
人文学部 教育学科 2021年度入学  
AICJ高等学校出身



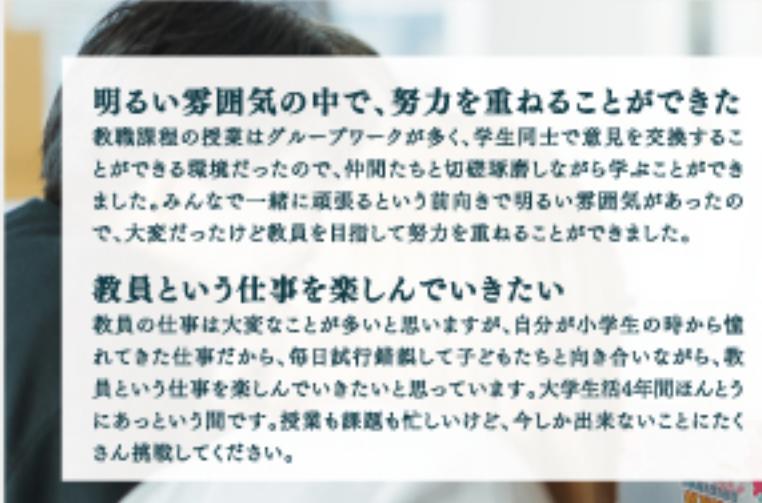
**教員を目指すことになったきっかけ**  
中学時代、私は不登校になった時期があったのですが、当時親身に接してくださいました英語の先生のおかげで少しずつ通学できるようになった経験から、先生の姿に憧れて、教員になりたいと思うようになりました。

私もいじめや不登校など、多様な悩みを抱える生徒に寄り添い、サポートすることができる先生になりたいと思っています。

**大学の充実した設備と**  
**教員採用試験に向けた充実のサポート体制**  
広島修道大学は、学内に教職課程を履修している学生専用の演習室や学習室があり、電子黒板等の設備や関係資料が用意されているので、積極的な活用をお勧めします。また、教員採用試験に合格した先輩の話が聞ける「教員採用試験受験報告会」の開催や各教育委員会の教員採用試験に関する情報提供、キャリアセンターでの二次面接対策等、大学全体で学生をサポートする体制が整っているので、とても心強かったです。

さんなみ　むつき  
**三波 瞳起さん**

広島県・市公立学校教員採用試験(中学校英語)合格  
人文学部 英語英文学科 2021年度入学  
広島県立安西高等学校出身



**明るい雰囲気の中で、努力を重ねることができた**  
教職課程の授業はグループワークが多く、学生同士で意見を交換することができる環境だったので、仲間たちと切磋琢磨しながら学ぶことができました。みんなと一緒に頑張るという前向きで明るい雰囲気があったので、大変だったけど教員を目指して努力を重ねることができました。

**教員という仕事を楽しんでいきたい**  
教員の仕事は大変なことが多いと思いますが、自分が小学生の時から憧れてきた仕事だから、毎日試行錯誤して子どもたちと向き合いながら、教員という仕事を楽しんでいきたいと思っています。大学生活4年間ほんとうにあっという間です。授業も課題も忙しいけど、今しか出来ないことにたくさん挑戦してください。

ふじい　のあ  
**藤井 望天さん**

山口県公立学校教員採用試験(小学校)合格  
人文学部 教育学科 2021年度入学  
高水高等学校出身

ふじい　のあ  
**藤井 望天さん**

山口県公立学校教員採用試験(小学校)合格  
人文学部 教育学科 2021年度入学  
高水高等学校出身



**謙虚で学び続ける姿勢に憧れて**  
私が教員を目指そうと思ったきっかけは、中学校のときの担任の先生に出会ったからです。謙虚で学び続ける姿勢と、生徒をたくさん笑わせてくれた先生の姿に憧れて、教員になりたいと思うようになりました。

子どもたちの成長を見守りながら自分自身も成長できる教員になりたいと思っています。

**大好きな卓球が勉強に集中する力をくれた**  
私は大学で卓球部の活動にも力を入れていました。体を動かすことで勉強に集中できたと思いますし、大学の卓球部にも教員採用試験の勉強をしている仲間がいたので、一緒に教員を目指して頑張ることができました。

部活動と勉強の両立は難しいと心配する人もいるかもしれません、勉強を頑張るきっかけになることもあるので、諦めずに挑戦してほしいと思います。

すずき　ひかる  
**須々木 晖さん**

岡山県立学校教員採用試験(中学校社会)合格  
人文学部 教育学科 2021年度入学  
岡山県立林野高等学校出身

## 4年間のスケジュール

1年次					2年次								3年次							4年次									
10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
全体スケジュール					介護等体験(7日間 小学校)								介護等体験(7日間 中学校)							教育実習(幼稚園・中学校・高校・栄養・特支)							免許状取得		
教職サポートプログラム					ひろしま未来教師セミナー(広島市教育委員会) 教師力向上プログラム(山口県教育委員会) 学校体験活動								広島県教育委員会連携事業「教育実習参加前対策マナー講座」							ひろしま未来教師セミナー(広島市教育委員会) 教師力向上プログラム(山口県教育委員会) 学校体験活動							広島県教育委員会連携事業「実践演習を中心とした教員のあり方」		
広島県教育委員会連携事業「教職の魅力を知る」					教員採用試験受験報告会								教員採用試験受験報告会							教員採用試験受験報告会							教員採用試験受験報告会		

## 取得可能な資格・免許状と学科

学部・学科	商学部		人文学部			法学部	経済科学部		人間環境学部		健康科学部	国際コミュニティ学部
資格名・免許名	商学科	経営学科	社会学科	教育学科	英語英文学科	法律学科	現代経済学科	経済情報学科	人間環境学科	健康栄養学科	国際政治学科	地域行政学科
保育士資格				●								
幼稚園教諭一種				●								
小学校教諭一種				●								
中学校教諭一種	社会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	英語				●							
	地理歴史		●	●		●						
高等学校教諭一種	公民		●		●	●	●	●	●	●	●	●
	英語											
	商業	●	●		●		●					
	情報						●					
特別支援学校教諭一種				●								
栄養教諭一種								●				
社会教育主事任用資格			●	●						●		

\*1 特別支援学校教諭一種免許状は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校のいずれかの免許を取得すれば、どの学部でも取得可能です。(健康科学部を除く)

\*2 社会教育主事任用資格については、P4を参照してください。

## 広島修道大学教職課程の3つの特長

## 保育士から高校まで幅広い免許種を用意、複数の免許を取得できる

私たちを取り巻く社会のありようは変動しています。そのような変動に対して、特に「ひと」を相手にする教育者は「教職員免許状(以下、教員免許)」があればうまく対応できるのでしょうか。確かに、教える職業に就くために教員免許状を持っている必要があります。ですが、相手にする「ひと」がどのように育っていくのか、育つためにはその「ひと」がどのような個性や願いを持つのか、理解し続けようとしても大切なではないでしょうか。本学の教職課程の特徴の一つに、学生が設定する目的に沿って、幅広い教員免許状(一種)が取得できることがあります。もしあなたが「さまざまな発達段階に対し、教育者として柔軟に関わることのできる教師になりたい」と考えるのであれば、幼稚園と小学校、小学校と中学校、中学校と高等学校というように、となり合う学校種の教員免許状を両方取得することが可能です(教育学科)。

またあなたが「さまざまな個性を持つ人の育ちに対し、支援する専門家として臨機応変に関わることのできる教師になりたい」と考えるのであれば、基礎となる免許状(幼稚園、小学校、中学校または高等学校のいずれかの教員免許状)に加えて、特別支援学校教諭の免許状を取得することも可能(健康科学部を除く全学部)です。「大学で学習した専門性を活かし続ける教師になりたい」ということであれば、中学校英語科、高等学校商業科・情報科、栄養教諭等の教員免許状を取得することもできます。つまり、広島修道大学には「教員免許状を取得することを超えて、チャレンジする学生にとって「教育専門家として意味のある教員免許状を取得する」ことのできる仕組み、言い換えると、学生一人ひとりの「目的をもった学び」に応えられるように、幅広い教員免許状が取得可能な教職課程が用意されています。

## 特別支援学校教諭一種免許状を取得できる

特別支援学校の教員は、小学校・中学校・高等学校または幼稚園の教員の免許状に加えて、特別支援学校教諭免許状を有していかなければなりません。特別支援学級担任や、適級による指導を担当する教員は、特別支援学校教諭免許状を有する規定にありませんが、免許取得を通じて知識を得ることで、より専門的な教育を行うことができます。また、通常学級に通う公立小中学校の児童生徒の8.8%に発達障害の可能性があります(文部科学省調査)。特別支援学校教諭免許状取得者は、特別支援教育コーディネーターとして、地域の特別支援教育推進のリーダーとしての活躍も期待されています。平成19年から、盲学校・聾学校・養護学校ごとに分けられていた教員の免許状が、一本化されました。

本学では、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者に関する教育の3領域の一種免許状を取得できます。(全学部対象)

## 社会教育主任用資格も取得できる

社会教育主任(社会教育士)養成課程を有する大学は、中四国地方では国公私立合わせて9大学で、広島県においては本学を含め私立大学3大学にとどまっており、広島修道大学の大きな特徴の一つです。(対象学部は左表参照)以前は教育長の発令を受けて発効する資格でしたが、2020年度より本課程を修了すれば「社会教育士」として活躍できるようになりました。

社会教育士は、学びの場を創ったり学ぶ人を応援したりすることで地域づくりを推進する役割を果たします。地域の中の学校が重視される昨今、この有資格者に対して教員採用試験で加点する自治体も増えてきています。

# 広島修道大学 教職課程の強み

教員を目指す学生を手厚くサポートするための、  
学修環境や様々な取り組みをご紹介します。

## 充実した施設



### 最新の設備を備えた施設で学べる

教員免許取得を希望する学生のための施設として、小学校課程実習室、音楽実習室、保育実習室、国工室、機能訓練室、観察室、ピアノ実習室、教職課程学習室を備えています。

2022年度より教職課程学習室を移設し、教員免許取得を希望する登録学生が自由に勉強できるスペースが誕生しました。また、模擬授業を行う教職課程演習室を新設し、電子黒板やデジタル教科書を使用したICT教育を行うと共に、教育実習や教員採用試験の準備ができる教職課程専用の教室を整備しています。正課授業の他に学生同士でのグループ学習や模擬授業も可能となっており、授業で教わったことを具体的に再現できるスペースとして活用されています。

## 教員採用試験受験報告会



### 学生同士の交流を通して教員へ

広島修道大学では、学生が互いに協力しながら自主的に教員採用試験対策を活動を行っています。その一つに教員採用試験受験報告会があります。本報告会は、当該年度実施された教員採用試験に合格した各学部・学科の4年生が主体となって企画する、教員や保育士を志望している1~3年生に向けたイベントです。免許種・教科別のグループに分かれ、合格した4年生は採用試験に向けた勉強方法やどのような参考書を使用したか、都道府県別の傾向などについて詳細に説明します。その後、「教職課程演習室」「教職課程学習室」の設備の使い方の説明なども後輩へ引き継いでいます。本報告会は、教員を目指す1~3年生の教員免許取得へのモチベーションとともに、教員採用試験合格への意欲を高める絶好の機会となっています。

## 教育委員会連携事業



### 教職の魅力を再発見

広島県教育委員会が実施する広島県教員養成塾の出前講座を活用し、全学部の教職課程履修学生を対象に、1年次「教職の魅力」、2・3年次「教育実習参加の心構えやマナーと学校現場での事例をもとにしたケーススタディ」、4年次「教育現場の実践教育を中心とした教員としてのあり方について」という流れで、大学4年間を見通した系統的な講座を開講しています。大学における教員養成段階で教育委員会の方から直接お話を聞き、学校教育の諸事象について考察する場を体験することで、大学で学ぶ理論と教育現場における実践の往還による、教員としての実践的指導力の育成を図ることができます。教職の魅力の再発見と、意識の向上につながっています。

## 学校教育インターンシップ



「学校教育インターンシップ」は、広島市の「大学生による学校支援活動」をはじめ、呉市、廿日市市、附属学校と連携して行う授業です。おおむね、5月くらいから年度末(3月)まで週に1回、連携自治体の学校(幼、小、中、高、特別支援)及び附属学校(中、高)に赴き、教育活動に参加します。活動内容は活動校の先生方と相談して決めることになりますが、学習指導補助や学級担任の補助など、様々な活動を行います。また、毎回の活動記録を作成することを通して、自身の経験と学びを振り返り、年度末に同じ活動をしている他の学生や教員とその共有を行い、実践を踏まえた学びを生み出しています。この事後の学習と実践の場での既定以上の時間数の活動を総合的に評価し2単位を認定しています。

## 教員としてのプライドが私の支え

### 教員を目指したきっかけ

私は、社会学への興味が強かったため、社会学専攻へ進学し、教職課程を履修し、教員免許状を取得しました。大学卒業後、民間企業に就職しましたが、教職課程で学んだ経験から学校現場で働きたい思いが強くなり、3年間の臨時的任用教員の経験を経て、広島市で教諭として採用されました。私が中学校の教員になったのは、中学時代の担任だった先生の影響が強かったです。時に厳しく、時にやさしく生徒を見守る面倒見の良い父親のような先生で、充実した中学校生活を送ることができたので、自分が教員になるなら、担任のような教員になりたいと思うようになりました。

### 教員という仕事の喜び

教員の仕事は大変なことも多いのですが、私はこの仕事にプライドを持っています。毎年多くの生徒たちとの出会いがあり、この出会いは一生のものです。今多くの卒業生と繋がっています。現在、私と同じ学校で後輩の教員として頑張っている教え子もいます。今は保護者として私の学校を支えてくれている教え子もいます。教員ならではの繋がりです。また、卒業式やその他の行事での生徒の成長に感動し、涙が流れることも少なくありません。世の中を見渡す中で、実際に感動の涙を流せる仕事がどれだけあるでしょうか。このようなドラマチックな仕事がどれだけあるでしょうか。



わたなべ よういち  
**渡邊 陽一校長**

広島市立五日市観音中学校 校長  
人文学部 人間関係学科・社会学専攻 1986年度卒業  
広島皆実高校出身

## 特別支援教育の知識が、 教員としての視野を広げる

### 特別支援教育に携わるきっかけ

私は大学卒業時、特別支援学校教諭の免許状を取得しておらず、社会科の教員として中学校に赴任していました。ある日特別支援学級で授業をした際に、生徒の一人が突然パニックを起こし使っていた教材を破り捨ててしまいました。当時の私は日の前で起きたことが理解できませんでした。その後特別支援教育に精通されていた赴任校の校長に相談し、その子の障害に配慮しながら授業を実施したところ、その生徒は授業に参加できるようになりました。

この時の経験がきっかけで特別支援教育について学ぶようになり、特別支援学校教諭の免許状を取得して現在に至っています。

### 特別支援教育の理解を広げたい

特別支援教育は言葉のイメージが先行し、難しさを感じさせてしまうかもしれません。決してそんなことはありません。知らないことが難しく感じているのだと思います。私が特別支援学校の授業で実践していることや研究していることを、多くの人に広げていきたいと考えています。



いけだ ともふみ  
**池田 知史先生**

広島市立広島特別支援学校 教務主任  
人文学科研究科  
教育学専攻 2012年度修了  
広島県立福山翠陽高校出身